





飯塚専務理事

立命館生協

食堂の運営や書籍の販売など学生の身近な生活を支える立命館生活協同組合。物価高対応や存在意義について、立命館生協の河原典史理事長と飯塚光一専務理事に話を聞いた。

(聞き手・金井)

—中東情勢などの影響で物価が上昇しているなか、どう対応していくか。

河原理事長「グローバルの影響はどうすることもできないが、いかに工夫して余計な出費を減らしていくか、長期的な視野に立つて考えることが重要。(例えば)初期投資が多くかかる無人レジなどは、長期的には経費削減につながる」と

中東情勢響き 物価高が続くなか

「安かろう悪かろうでは…」

河原理事長「いくら売れたかではなく、どれだけ満足しているか、今はそこに価値判断を移している。(例えば)以前は生協

—昨年度の供給高は約48億円と新型コロナウイルス禍前の60億円台の水準と比べて下回っている。現在の供給高についてどう捉えるか。

飯塚専務理事「価格上昇を抑えるための具体的な取り組みとして、全国の大学生協で共同仕入れをしてコストを抑えている。また、きちんと活用すれば値引きがあるミールシステムを用意している。商品政策として、副菜・小鉢は栄養を補う『補食』の観点からほとんど(の場合で)値上げしないというところがあり、生協では経営の方針として栄養と価格の両立を図っている。値上げは最小限にとどめたい」

減につながっていると思う。安いものを提供すればいいのではないかと、という声がある。生協は(組合員が)健康で学べることを支えるのが役割。そう考えると「安かろう悪かろう」なものも提供できない。そこは理解してくれようという」

飯塚専務理事「価格上昇を抑えるための具体的な取り組みとして、全国の大学生協で共同仕入れをしてコストを抑えている。また、きちんと活用すれば値引きがあるミールシステムを用意している。商品政策として、副菜・小鉢は栄養を補う『補食』の観点からほとんど(の場合で)値上げしないというところがあり、生協では経営の方針として栄養と価格の両立を図っている。値上げは最小限にとどめたい」

栄養と価格 両立し「値上げは最小限に」

河原理事長「立命館には、専属の先生がいる保健センターがあり、すぐに連携できるのが強み。また、父母教育後援会の協

—学生の健康への立命館生協の具体的な取り組みは。

飯塚専務理事「供給高について、営業時間、販売商品の違いや学生への『キャンパス滞在時間』の変化などの影響がある。一方(食堂の)客数は年々伸びている。いくら売れたかではなく、組合員の人にどれだけ貢献できたか、という視点が一番重要だ」

飯塚専務理事「価格上昇を抑えるための具体的な取り組みとして、全国の大学生協で共同仕入れをしてコストを抑えている。また、きちんと活用すれば値引きがあるミールシステムを用意している。商品政策として、副菜・小鉢は栄養を補う『補食』の観点からほとんど(の場合で)値上げしないというところがあり、生協では経営の方針として栄養と価格の両立を図っている。値上げは最小限にとどめたい」



河原理事長

力のもと生協が食の健康をサポートする『100円朝食』がある。『100円』で続けるのは厳しいから150円や200円に値上げしようかという話があったが、(価格を)維持している。こうした独自の立命館のシステムがあることを理解してほしい。加えて、これらを今後さらに成長させていきたい」

—民間企業とは違う生協の存在意義・価値は。

河原理事長「みんなで作り上げていくところ(が存在価値)。利益にならないからしないという(民間企業とは)全然違う考え方でも成り立っている。トータルに豊かなキャンパスライフを支えていくところが生協だと思う」

飯塚専務理事「組合員が『自分の店』だと思えることが生協の存在意義。外部業者と違うのは、剰余利益は組合員に還元されること。キャンパスに密着して学生生活に伴走する。民間であれば赤字撤退することもあるが、生協は全体最適のなかで、赤字店舗でも生協全体で支えることが可能。そういったことは、生協しかできないことだと思う」

力のもと生協が食の健康をサポートする『100円朝食』がある。『100円』で続けるのは厳しいから150円や200円に値上げしようかという話があったが、(価格を)維持している。こうした独自の立命館のシステムがあることを理解してほしい。加えて、これらを今後さらに成長させていきたい」

生協総代会開催

第100回 物価高やミールへ意見

本学衣笠キャンパスの以学館で5月23日、立命館生活協同組合の最高議決機関「総代会」が開催された。今回で100回目。総代会では、昨年度の事業報告や今年度予算などに関する議案が提出され、全議案が承認された。また、組合員の代表として選出された総代らの意見に対し生協側が回答する「討議」が行われた。



総代会の様子=5月23日、衣笠キャンパス

説明した。昨年度の供給高(売上額)が約48億円と前年比の約2・8%の成長を見せたことを報告。また、前年の5000万円台から8000万円台へ大きく改善

した剰余金について、コメの価格が一定程度落ち着いた影響があったと明かした。今年度の事業環境として、経済情勢による物価高や最低賃金上昇などの労働市場の変化にも触れ、「経営の持続性」と「組合員の負担抑制」の両立を重要課題として設定していると述べた。

今年度の予算に関して、供給高が50億円を超える見通しだと説明。事業経費については、ユニオンスクエアの大規模な改修への単年度で1億2000万円分の投資分を含むとし、剰余金について4696万円の赤字を見込んでいたとした。

討議では、本学学部生・院生のほか、立命館アジア太平洋大の学生、付属高校の生徒らも発言。物価高対応やミールシステムへの意見などが寄せられた。

立命館生協は、書面も含めた発言に対して、理事会での検討も踏まえて後日正式な回答を行うとしている。旧役員代表の金山知生さん(政策3)は自身の活動を「(組合員からの)ニーズをきちんと拾って、橋渡し役となり生協へ届けるというのが僕たちの役割である」と話し、立命館生協の今後について「同規模の大学(の生協)にとって指標となるような存在になってほしい」とコメントした。(金井)

10周年で特別展

平井嘉一郎記念図書館

本学衣笠キャンパスの平井嘉一郎記念図書館は4月1日に開館10周年を迎えた。これを記念し、4月1日から5月31日まで同館1階のエントランスホールとギャラリーにて特別展が開催された。

今回の特別展は「平井嘉一郎氏が私たちに遺したも

の、私たちが未来へ引き継ぐもの」をテーマに開催。同展では平井さんに関する著作や生涯を表した年表のほか、図書館が誕生した由来や平井嘉一郎研究奨励賞の歩みを示す展示などが並び、設立経緯や平井さんの人物像などを知ることができ、展示構成となった。

同展の担当者である図書館利用支援課の干場利則さんは「図書館を利用する人の目に見える形で展示を構成したいと思っていた。利用者には図書館開館に携わった関係者への感謝を感じていただく機会となれば」と企画の趣旨について語った。その上で「寄付者の方がどのような思いを持ち、支援していただいたのか、私たちが改めて認識しなければならぬ」と話し

同館提供

(矢野)

立命館大学新聞社
RITSUMEIKAN UNIV PRESS

時代を
映す、残す、
変える。

パフォーマンスを披露する書道部=5月31日、衣笠キャンパス



地域と五感で楽しむ

1万3千人が来場 衣笠フェス

本学衣笠キャンパスで5月31日、京都市北西部の衣笠地域を巻き込むアートイベント「第2回KINUGASA ART VILLAGE FESTIVAL (衣笠アートヴィレッジフェスティバル)」が開かれた。本学によると来場者数は約1万3000人だった。

開会宣言には▽西脇隆俊・京都府知事▽松井孝治・京都市長▽北野天満宮の禰宜(ねぎ)の東川楠彦さん▽仁和寺の

デザイン・アート学部と同研究科の開設を記念して、作詞家の秋元康さん(本学客員教授)が特別講演に登壇した。



講演する秋元さん=本学提供

秋元さんは「人間力とは？」と題し、自身の経験やそこから得た教訓について講演を行った。秋元さんはこれまでテレビ番組やラジオなど多様なプロデューサーや数多くの作詞を手がけてきた。

その経験から「人間力とは自分決して嘘をつかず人間らしいということだ。魅力的な人には人間力がある」と述べた。さらに「間違っていると思う人が多く出てくると思うのでぜひ頑張ってください」とデザイン・アートを学ぶ学生にメッセージを送った。(矢野)

学園祭日程決まる

本学学友会の学園祭実行委員会は6月8日、本年度の学園祭日程を発表した。日程は、衣笠祭典が11月1日、OIC祭典が12月6日、BKC祭典が12月13日。本年度の学園祭は例年と同様、衣笠キャンパス、び

「大阪府北部地震は想定されていなかった地震だ。現在、南海トラフ巨大地震に注目が集まっているが、茨木市では有馬―高槻断層帯や上町断層帯の方が被害が大きいと想定される。身近で地震が発生する可能性もある」と本学政策科学部の豊田祐輔教授は警鐘を鳴らす。(本文記事1面)



とよだ・ゆうすけ 専門は防災まちづくり、観光防災など。立命館大学歴史都市防災研究所で副所長を務める。茨木市総合計画審議会委員としての経験も持つ。

2015年からOICで開催されてきた「いばらき×立命館DAY」に、ゼミで防災ブースを出し続けてきた。2018年に防災ブースに参加した子どもの保護者を対象にアンケートを行ったところ、防災訓練に「参加したところがない」「ほとんど参加していない」と答えた約半数が「防

地域防災訓練に参加しない住民には地域のつながりが薄く、情報が回ってこない場合や知り合いがいらないことで参加しづらいと感じている場合も少なくない。

2015年からOICで開催されてきた「いばらき×立命館DAY」に、ゼミで防災ブースを出し続けてきた。2018年に防災ブースに参加した子どもの保護者を対象にアンケートを行ったところ、防災訓練に「参加したところがない」「ほとんど参加していない」と答えた約半数が「防

「日本での常識」通じない可能性

国内観光客に対しては一斉帰宅による交通の大渋滞、さらなる混乱を防ぐための効果的な対策が必要だ。姫路城における大地震を想定した国内観光客の意識調査では、滞在可能施設提供の有無で滞在率が約20%変化したのに対し、水・食料の提供の有無では約40%の変化と、2倍の差がみられた。おそらく観光客というのはすぐ帰れるだろうと想定し、水・食料の提供があればとありあえず滞在しようと考えているのではないかな。

現代社会は情報であふれている。ある程度信頼できる情報を調べて、自分がどうしたいのかというのを考えて行動するというのが大事だ。また、自宅生は家族が防災対策を行っていることもあり、一般的に下宿生の方が対策をしていない。自分が起点となって周りの人たちの行動を変えられるようにしてほしい。地域の防災訓練については、本来は気軽に参加できるものなのに、ぜひ参加してもらったと思う。

11日からは第3部「衣笠キャンパスの完成と拡充[1962―2000]」と第4部「未来へ」を展示する。第1部、第2部は7月31日まで本学歴史都市防災研究所1階展示スペースを巡回する。

同展を企画したデザイン・アート学部の木村智准教授は「建築学科の人としては誰が、どういうことを考えて(その建物を)作ったのかというのは知りたい。衣笠キャンパスでもやってみようと思い、プロジェクトを立ち上げた」と話した。(松山)



衣笠時代を越えて

「立命館 衣笠キャンパス―その歴史と未来―」展が5月31日、充光館1階のD

A Gallery (デザイン・アート・ギャラリー) で始まった=写真=。8月2日まで開かれる。同展は4部構成で、7月

第一印象は写真で決まる!

簡単肌補正付きで好印象の証明写真を。

当日中に撮り直しOK!

就活・インターン・資格試験・運転免許・パスポート・マイナンバー・各種証明写真etc...

履歴書の印象、写真で変わる。

当日中に撮影・お渡し

簡単肌補正付き

データ(CD-R)プリントは当日中に納品

Web納品サービス対応

背景の色は12色から選べます

選べる3つのプラン

※土日祝日の場合は+1,100円発生致します ※スーツ等の貸出不可

レディースプラン - ヘアセット - フルメイク - データ1カット - プリント1シート ¥5,500(税込) 所要時間 1時間	スタンダードプラン - データ1カット - プリント1シート ¥3,300(税込) 所要時間 30分	メンズプラン - ヘアセット - メンズメイク - データ1カット - プリント1シート ¥4,400(税込) 所要時間 1時間
--	---	---

〒567-0888 大阪府茨木市駅前1丁目7-18 STOビル1F

—JR茨木駅より徒歩5分 提携駐車場完備

072-648-5244 定休日 月曜日

https://www.studio-solis.jp/

ご予約・詳細はこちら →

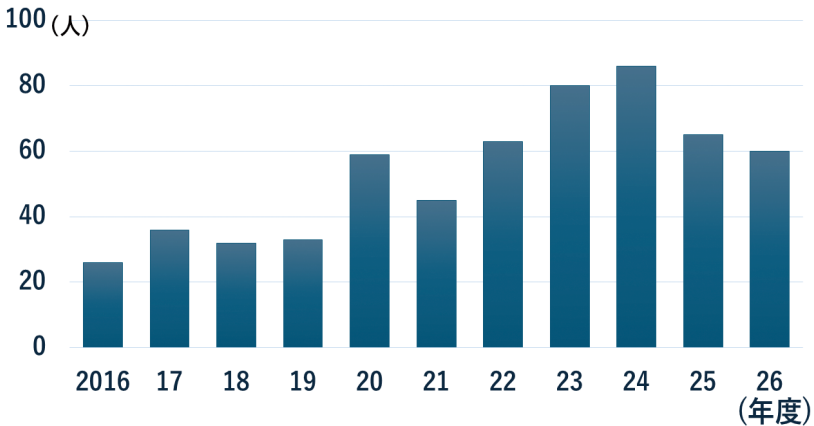
公式LINEからもご予約可能です

Photo Studio Solis
フォトスタジオソリス
自然な表情を引き出す、プロの証明写真。

国の視点で課題解決

中央省庁で、政策の企画立案などの業務を行い、「キャリア官僚」とも呼ばれる国家公務員総合職。本学では近年、合格者が増加傾向にある。本学の取り組みに迫った。(室山)

国家総合職



◆本学の国家公務員採用総合職試験合格者数推移
(26年度のみ春試験、本学の発表に基づく)

国家公務員採用総合職試験は毎年、春試験と秋試験の2回実施される。2024年の春試験では本学出身の合格者数が、東京大の189人、京大の120人に次ぎ、全国3位の84人と

なり、大きな話題を呼んだ。この要因には、公務員についてさまざまな取り組みを行うエクステンションセンター(エクセン)の存在があるようだ。

合格者数増加の背景に迫る

本学では1・2年生という早い段階から国家公務員について触れる機会が設けられている。1・2年生対象の公務員養成プログラム「立命館霞塾」は、国家公務員を知る機会を設けようと、2013年に本学キャリアセンター職員に着想に基づき、当時、同部署副部長だった政策科学部の石原一彦教授らが、本学経済学部の紀国洋教授と国家公務員の本学卒業生の協力を得て開始した。

近年、100人以上の学生が受講登録を行い、官僚となった卒業生もいる。開設当初は、国家公務員への志望者や公務員講座の受講者を対象としていたが、現在では国家公務員に関心のある1・2年生の学生へと対象を広げた。

受講者には、文系学部の学生が多い。エクセンの庄司弘さんは「霞塾自体は文系・理系関係なく、門戸を広げている。多様な視点

く増加した。「思想に関すること」や「労働組合に関すること」などでも増加がみられ、不適切な質問に関する項目は「性別」を除いて大きく増加する結果となった。

採用選考の過程で戸籍謄本や戸籍抄本の提出を求められた人の割合は15・4%にも上り、7・6%だった前回から倍増した。性的指向を確認された人の割合は16・1%で、前回の8・9%から大きく上昇した。そのほかにも「本籍地や出生地に関すること」や「住宅状況に関すること」について質問された人の割合が大きく増加した。

就職活動で男女差別を感じたことがある人の割合は36%だった。「学歴フィルター」について

日本労働組合総連合会(連合)が実施した調査で、企業の採用選考の面接において、性的自認への違和感や性的指向、恋人の有無などといった「不適切な質問」をされた人の割合が増加していることが分かった。採用の過程で戸籍謄本や戸籍抄本の提出を求められた割合も8・3ポイント上昇し、約4割にも及んだ。

社会的差別につながる個人情報収集は職業安定法ネット上で実施。3年以内

人事院は5月29日、今年度の国家公務員採用総合職試験(春試験)の最終合格者数を発表し、本学は学部卒、院卒計60人が合格した。本学エクステンションセンターによると、合格者数は全国で8位、西日本の私立大学で1位を記録した。昨年度は合格者が62人、全国6位であり微減となった。

本年度試験の受験倍率は、大卒程度試験が6・5倍、院卒者試験は1・5倍。総受験者は9940人で合格者は2021人となった。

エクセンは「立命館霞塾の開講や公務員講座の運営、奨励金制度など学生の支援に取り組んでいる。日本の未来を担う公務員の養成に努めたい」としている。(国島)

方にも、ぜひ積極的に「立命館霞塾」などの企画を活用いただき、自身の進路について考えるきっかけや一助となれば幸いだ」とコメントした。

ての項目では、44・3%の人が「学歴フィルター」を感じたことがあると回答した。応募者の交流サイト(SNS)上でのアカウントについて、企業から調査する旨の通知を受けた人の割合は前回から9・1ポイント増加して20・8%だった。連

合は「身元調査にもなりうることから、新たな就職差別につながる恐れもある」と警戒感を強める。(星野)

ンや奨学金などで教育費を借り入れに頼っている世帯の割合は約25%だった。利用者の約6割が「利率固定方式」を選択し、残りは、おおむね5年に一度利率が見直される「利率見直し方式」を選んでいく。

滋賀県知事選挙 選挙意識向上へ BKCに投票所

5日に投票所が設けられた滋賀県知事選挙に先立ち、本学びわこ・くさつキャンパス(BKC)のセントラルアークに2日から3日、期日前投票所が設けられ、本学学生や地域住民らが投票を行った。

学内に投票所を設置する取り組みについて、草津市選挙管理委員会の職員は「若い世代の選挙意識を向上させることが目的。学生や地域住民といった幅広い世代の方に投票所へ足を運んでもらった」と話す。今後について「国政選挙などが

あれば、こうした取り組みを継続していきたい」と語った。散歩のついでに利用したという地域住民の男性は「前回(の選挙の時)も利用させてもらった。手軽で便利だったので次も利用したい」とコメントした。(金井)

LEC京都駅前本校にアクセスで対象書籍を1冊プレゼント!

LEC京都駅前本校にアクセスで対象書籍を1冊プレゼント!